

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： ディープラーニングを用いたマウス夢見証明への挑戦
2. 研究代表者： 常松 友美（北海道大学 大学院理学研究院 講師）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

フェーズ1は画像復元技術や PGO 波の発見が評価され、独創的な夢見研究に挑戦している。研究室の移動による遅延や夢見の証明の具体性に課題が残ったが、フェーズ2では、PGO 波の生成機構に関する光遺伝学や電気生理学の計画は期待が持てる。独自の視点を持ちつつ戦略性を発揮し、新たな挑戦に期待する。

以上